



リールベアリングとシールのリビルド・キット

Greensmaster® Flex™ 芝刈り機2011年度製造分およびそれ以前の11枚刃
または14枚刃カッティングユニット用

モデル番号130-0105

取り付け要領

取り付け

▲ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

すべてのモデルが対象

1. モアを平らな作業台に置く。エンジンが停止していることを確認する。点火プラグから点火ケーブルを外す。
2. トラクションユニットからカッティングユニットを取り外す；詳細はオペレーターズマニュアルを参照。

注 カッティングユニットにグルーミングリール・キットが取り付けられている場合には、グルーミングリールを取り外す。詳細は、グルーミングリールのオペレーターズマニュアルを参照。

3. カッティングユニットからベッドバーを取り外す；詳細はオペレーターズマニュアルを参照。
4. カッティングユニットの左側についているベルトカバーとリール駆動ベルトを取り外す；オペレーターズマニュアルを参照。
5. リールが回転しないように角材などで固定する。駆動プーリをリールシャフトに固定しているフランジナットを取り外す（図 2と図

3）。シャフトからプーリを取り外す。リールシャフトから半月キーとスペーサを外す。

6. リール駆動プレートアセンブリをカッティングユニットの左側に固定しているロックナット（2個）、キャップスクリュー、ロックワッシャをゆるめて外す（図 1）。カッティングユニットのサイドプレートからアセンブリを外す。リール駆動プレートの裏側にスペーサがついている場合には、スペーサを外す。

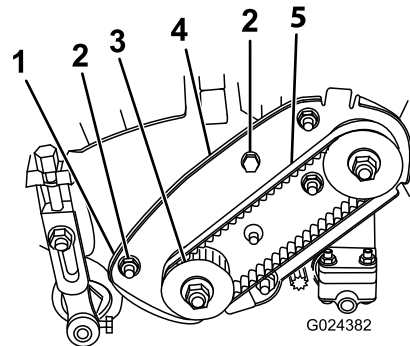


図 1

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. スペーサ | 4. リール駆動プレートアセンブリ |
| 2. ロックナット、キャップスクリュー、ロックワッシャ | 5. リール駆動ベルト |
| 3. リール駆動プーリ | |
7. 前ローラを取り外す；オペレーターズマニュアルを参照。

ベアリングハウジングが一体型の場合

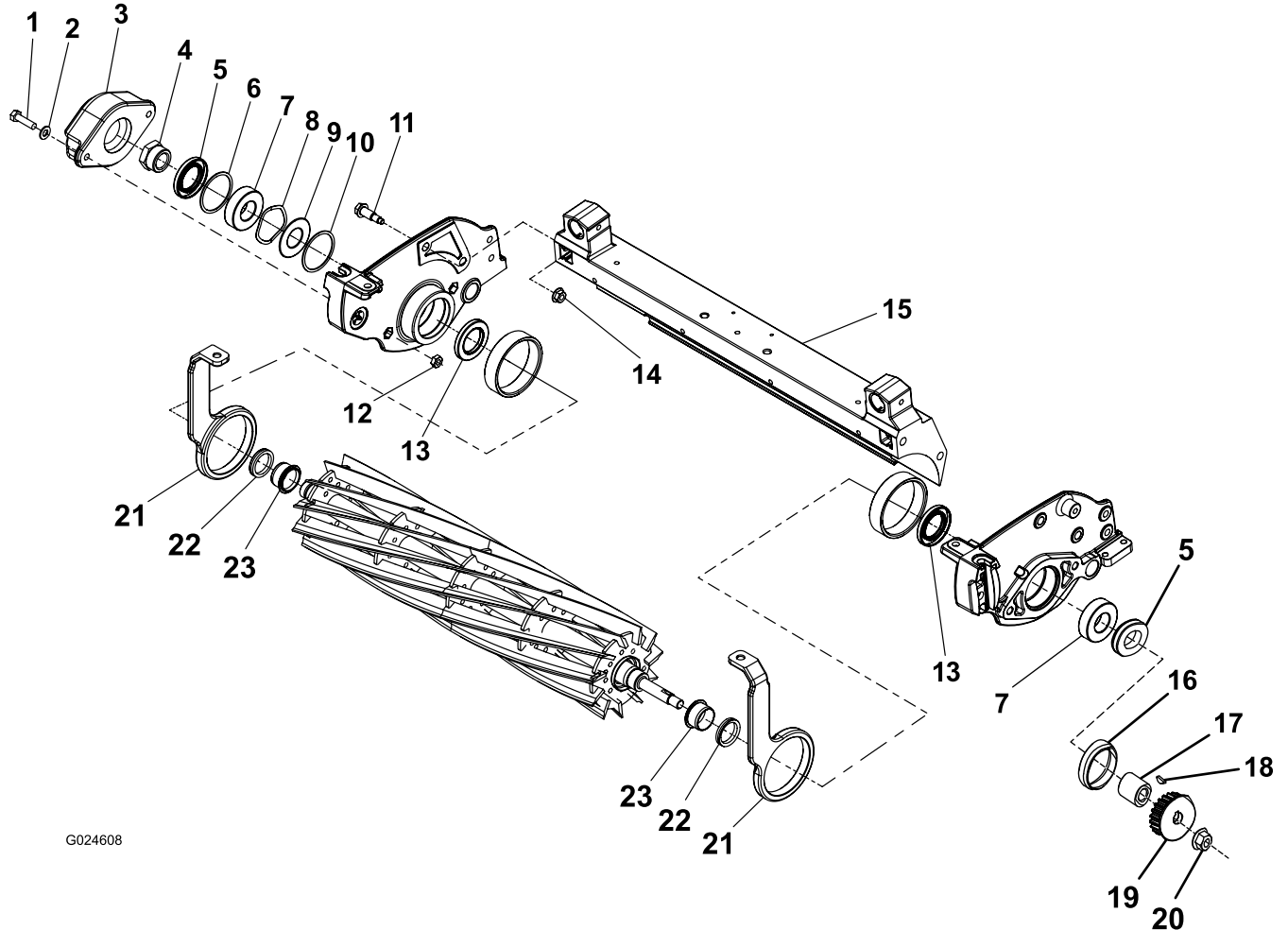
1. 後ローラを固定しているねじをゆるめる。
2. カウンタウェイトをカッティングユニットの右側に固定しているねじ（2本）、ワッシャ、ロックナットを外す（図 2）。
3. リールの右側から、リールベアリング・ロックナットを外す（図 2）。

注 リールベアリング・ロックナットは左ねじです。

4. フレームとリールからサイドプレートを外す；オペレーターズマニュアルを参照。リールを取り外す。



5. 各ベアリングハウジングからオイルシールを取り外して廃棄する（図 2）。
6. 左側サイドプレートからベアリングを外して廃棄する。
7. 右側サイドプレートから、リテーナリング、ベアリング、ウェーブワッシャ、スラストワッシャを外して廃棄する。
8. ベアリングハウジングを清掃する。



G024608

図 2

- | | | | |
|--------------------|-------------|----------------|--------------|
| 1. ボルト | 7. ボールベアリング | 13. 内側オイルシール | 19. リール駆動プーリ |
| 2. ワッシャ | 8. ウェーブワッシャ | 14. フランジヘッドナット | 20. フランジナット |
| 3. カウンタウェイト | 9. スラストワッシャ | 15. フレーム | 21. ピッチアーム |
| 4. リールベアリング・ロックナット | 10. リテーナリング | 16. スペーサ | 22. Vリング |
| 5. 外側オイルシール | 11. ショルダボルト | 17. スペーサ | 23. スリーブ |
| 6. リテーナリング | 12. ロックナット | 18. 半月キー | |

ベアリングハウジングが着脱型の場合

1. カウンタウェイトをカッティングユニットの右側に固定しているロックナット（2個）を外す（図 3）。カウンタウェイトを外す。
2. リールの右側から、リールベアリング・ロックナットを外す（図 3）。

注 リールベアリング・ロックナットは左ねじです。

3. 各リールベアリングハウジングをカッティングユニットのサイドプレートに固定している

テーパード・ナット（2個）とプラウボルトを外す（図 3）。

注 このキットを使ってキャニスタシールを古いタイプのオイルシールに取り付ける場合には、新しいベアリングロックナットとスペーサ（図 3）が必要となります。このシールのオイルシールは、外径が 32 mm のベアリングロックナットとスペーサを使用しています（古いパーツの場合は外径が 28 mm です）。弊社代理店より、ベアリングロックナット（パーツ

番号 107-3227) とスペーサ (107-3228) を入手してください。

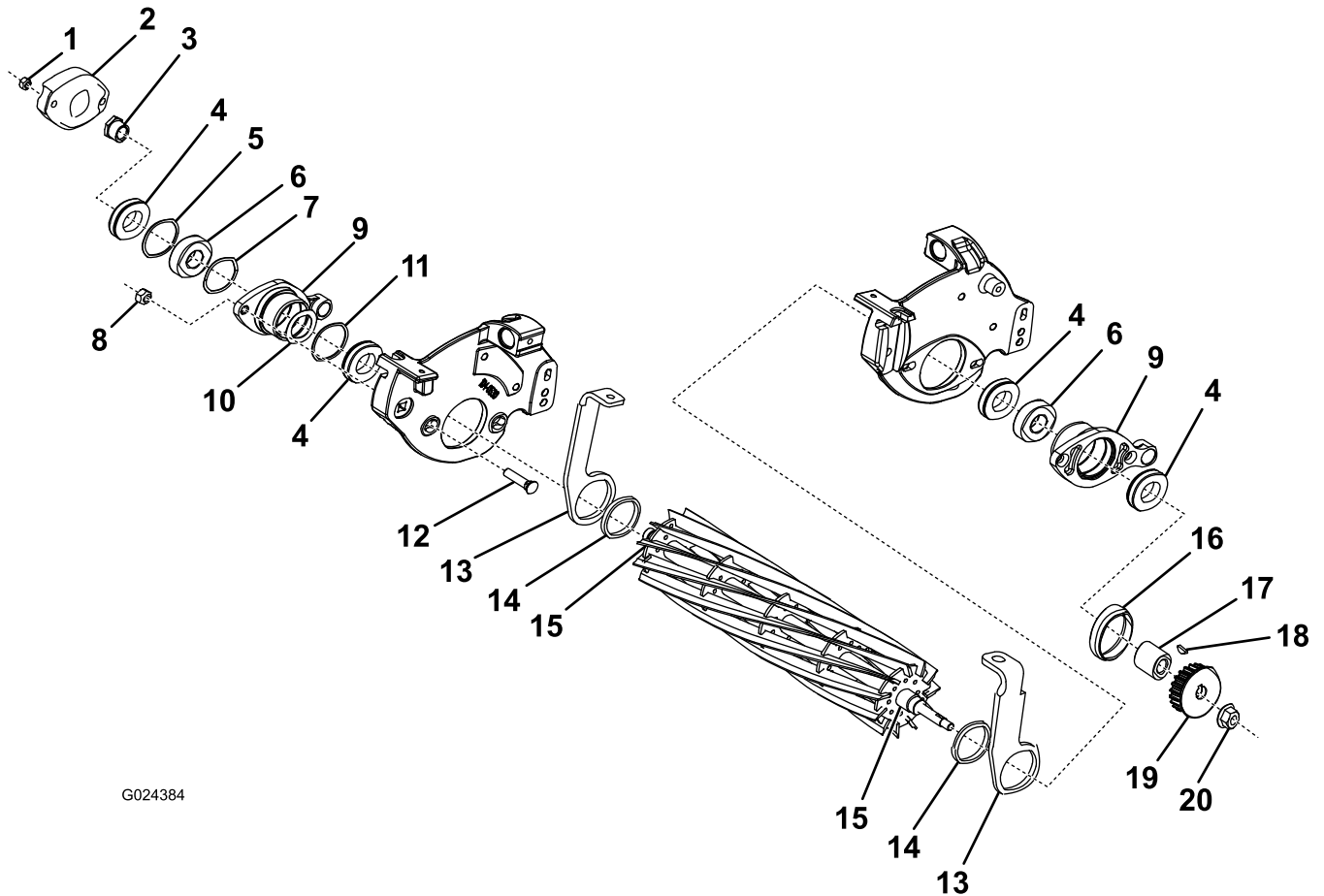
▲ 注意

回転しているリールやその関連部分に触れると大けがをする。カッティングユニットの取り扱いには丈夫な手袋をはめて行う。

重要 ベアリングハウジングを取り外すときにリールが落下しないように確実に支えておくこと。

4. フレームとリールから、ベアリングハウジングをそれぞれ外す。

5. 各ベアリングハウジングからオイルシールを取り外して廃棄する (図 3)。
6. 左側ベアリングハウジングからベアリングを外して廃棄する。
7. 右側ベアリングハウジングから、リテーナリング (2個)、ベアリング、ウェーブワッシャ、スラストワッシャ (ついていない場合もある) を外して廃棄する。
8. ベアリングハウジングを清掃する。



G024384

図 3

- | | | | |
|--------------------|---------------|----------------|--------------|
| 1. ロックナット | 6. リールベアリング | 11. リテーナリング | 16. スペーサ |
| 2. カウンタウェイト | 7. ウェーブワッシャ | 12. プラウボルト | 17. スペーサ |
| 3. リールベアリング・ロックナット | 8. テーパーナット | 13. ピッチアーム | 18. 半月キー |
| 4. オイルシール | 9. ベアリングハウジング | 14. プッシュ | 19. リール駆動プーリ |
| 5. リテーナリング | 10. スラストワッシャ | 15. ベアリングジャーナル | 20. フランジナット |

2

キットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	スラストワッシャ
4	オイルシール
1	スペーサ
2	Vリング
2	ボールベアリング
2	リテーナリング
2	ウェーブワッシャ

1. 左側ベアリングハウジングまたはサイドプレートに、新しいベアリングを取り付ける (図 6)。
2. 右側ベアリングハウジングまたはサイドプレートに、リテーナリング、スラストワッシャ、ウェーブワッシャ、ベアリング、リテーナリングを取り付ける (図 5)。
3. ベアリングハウジングの各側にオイルシールを入れる；シールの平たい側が外側を向くように取り付けること。
 - ・ 一体型のベアリングハウジング、または、ベアリングハウジングのボアの長さが 40 mm のものの場合 (図 4)、大きいワッシャ (キットの付属品) を使ってそれぞれのシールをベアリングハウジングに押し込み、ワッシャがベアリングハウジングの外側のエッジと面一になるようにする。

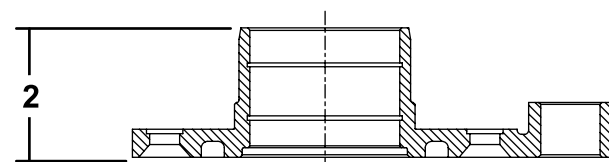
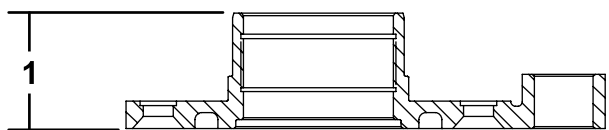
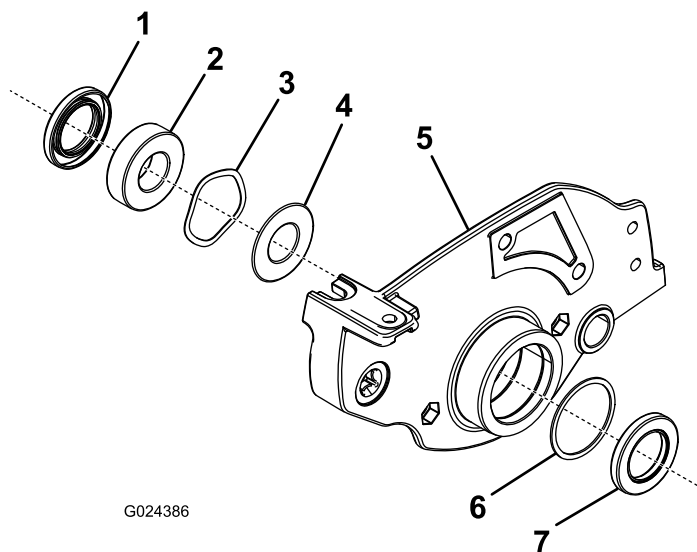


図 4

G024385

1. 40 mm

2. 45 mm



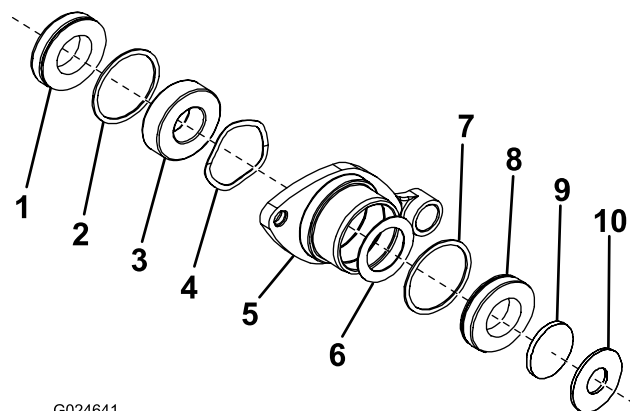
G024386

図 5

右側ベアリングハウジング

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 外側オイルシール | 5. ベアリングハウジング |
| 2. ベアリング | 6. リテーナリング |
| 3. ウェーブワッシャ | 7. 内側オイルシール |
| 4. スラストワッシャ | |

- ・ ボアの長さが 45 mm のベアリングハウジング (図 4) の場合は、キットに付属しているスペーサと大きいワッシャを使って、内側シールをベアリングハウジングにあと 5 mm 押し込む (図 6)。スペーサは、厚さが 5mm ある。スペーサがベアリングハウジングの外側エッジと面一になったら、スペーサを外す。



G024641

図 6

右側ベアリングハウジング

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 外側オイルシール | 6. スラストワッシャ |
| 2. リテーナリング | 7. リテーナリング |
| 3. ベアリング | 8. 内側オイルシール |
| 4. ウェーブワッシャ | 9. スペーサ |
| 5. ベアリングハウジング | 10. ワッシャ(大) |

4. ベアリングのキャビティそれぞれに、およそ半分程度グリス (汎用グリス) を入れる。

5. リールシャフトの両端についている V リングを外す (図 7)。

注 スリーブを点検し、必要に応じて交換する。特殊工具のスリーブドライバがあります；弊社代理店にてお求めいただけます。それぞれのリールシャフトの端部に新しいスリーブを押し込む。スリーブがシャフトの段と面一になるまで押し込む。

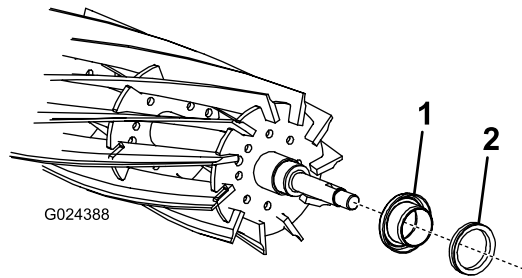


図 7

1. スリーブ
2. V リング

6. 新しい V リングを取り付ける；平たい側からリールシャフトの端部に取り付けて完全に挿入する。
7. 刈り込みリールのベアリングジャーナルに固着防止潤滑剤を塗布する (図 2 と図 3)。ピッチアームとブッシュとともに、リールをフレームにセットして、ベアリングハウジングを取り付けられるようにする。

注 リールシャフトの端部 (キー溝のついてる方) がフレームの左側にくるようにセットする。

▲ 注意

回転しているリールやその関連部分に触れると大けがをする。カッティングユニットの取り扱いには丈夫な手袋をはめて行う。

3

取り付けを完了する

必要なパーツはありません。

ベアリングハウジングが一体型の場合

1. 左右のサイドプレートを、リールシャフトに取り付ける。必要であれば、やわらかいハンマーを使って軽くたたきこむ。
2. サイドプレートをフレームに取り付ける。
3. 後ローラを固定する。

ベアリングハウジングが着脱型の場合

1. 両方のベアリングハウジング (図 3) を、フレームを通してリールシャフトに取り付ける。
2. リールシャフトにハウジングを押し込むようにして取り付ける。必要であれば、やわらかいハンマーを使って軽くたたきこむ。
3. カッティングユニットのサイドプレートにベアリングハウジングを取り付ける；プラウボルト (2本) とテーパードナットを使用する。各締め具を本締めする。

すべてのモデルが対象

1. ベアリングロックナットの内側のねじ部分に固着防止潤滑剤を塗布する (図 2 と図 3)。リールが回転しないように角材などで固定する。ベアリングロックナットをリールシャフトに取り付けて締め付ける。

注 リールベアリング・ロックナットは左ねじです。

2. カッティングユニット右側にカウンタウェイトを取り付ける；先ほど取り外したねじ類を使う (図 2 と図 3)。
3. 左側リールベアリングハウジングに、スペーサを取り付ける (図 1)。リール駆動プレートアセンブリをカッティングユニットの側面に取り付ける；先ほど取り外したロックナット、キャップスクリュ、ロックワッシャを再利用する。締めつけてアセンブリを固定する。
4. リールシャフトに、スペーサと半月キーを取り付ける (図 2 と図 3)。駆動プーリの内側 (ボア) に固着防止潤滑剤を塗り、リールシャフトに取り付ける。フランジナットを取り付けて、プーリをリールシャフトに固定する。
5. プーリを手で回して、リールアセンブリが自由に回転することを確認する。自由に回転しない場合には原因を見つけて取り除く。

注 フレックス 21 は、トロの他のグリーンモアとリールシールの設計が異なるため、他のグリーンモアよりも少しリールの回転が硬い感じに仕上がります。

6. リール駆動ベルトをプーリと駆動アセンブリに取り付ける (図 1)。駆動ベルトの張りを調整し、ベルトカバーを取り付ける；オペレーターズマニュアルを参照。
7. 前ローラを取り付ける
8. カッティングユニットにベッドバーを取り付ける。
9. トラクションユニットにカッティングユニットを取り付ける。

メモ:

メモ:



Count on it.